

「内子町健康まつり2017」

健康づくりの意識を高める「内子町健康まつり2017」は9月2日、共生館で開かれました。まず「高池健康づくり優良賞」の表彰式が行われ、堀本益幸さんから10人に表彰状と記念品が贈られました。記念講演では(財)新居浜精神衛生研究

所豊岡大病院院長の枝廣篤昌さんが「笑いのチカラ笑って心もからだも健康に」と題して登壇。芸乃虎や志の高座名で落語を披露し、「笑いは自律神経を調整する。作り笑いでも効果はあり、一人よりも大勢で笑うとさらに効果的」と話しました。



リズム体操で「笑いのウォーミングアップ」をする参加者の皆さん

「全日本小学生女子相撲大会」へ



(右から)高岡さん、大野なつきさん、大野春陽さん、明智さん

「愛媛県小学生相撲選手権大会」が8月6日、愛媛県総合運動公園で開かれ、大野春陽さん(内子小6)と明智千夏さん(大瀬小5)が優勝、大野なつきさん(天神小6)と高岡幸音羽さん(大瀬小3)が準優勝しました。4人は10月15日に大阪府で開かれ

る全国大会に出場します。監督の泉清一さんは「全国レベルはかなり高い。負けてもいいので、自分の力を出し切ってほしい」とエールを送ります。初出場の高岡さんは「緊張するけれど、楽しみ。一つでも多く勝ちたい」と意気込みました。

えひめ国体デモンストレーションスポーツ & クリーンアップ大作戦

「愛顔つなぐえひめ国体」の開催まで1カ月となった9月、内子町内で開催を盛り上げる行事などが行われました。

9日にはデモンストレーションスポーツ「パラグライダー」が、神南山フライトエリアで開かれました。参加した愛好者など43人は神南山北離陸場から次々と飛び立ち、小田川緑地公園着陸場に設置されたターゲットに着陸する技術を競いました。

13日には「えひめ国体ライフル射撃競技会場クリーンアップ大作戦」が城の台公園で行われ、あじさい会など3団体約40人が参加。草刈りや道路の清掃などをしました。同国体実行委員会事務局長の亀沖明義さんは「国体開催前に植栽や清掃、応援のほり旗づくりなど、多くの人たちが協力してくれた。皆さんの思いに感謝したい」とお礼の言葉を述べました。



1. 離陸直前に色鮮やかなグライダーを広げる選手 2. 城の台公園の斜面の草を刈る皆さん

内子の暮らしそのものをアートに 「ダイニングアウト」の準備着々

10月28・29の両日に開かれる「ダイニングアウト内子」。日本のどこかで数日だけオープンする特別な野外レストランで、愛媛県では初めて開催されます。「Life's Art」をテーマに、ミシュラン2つ星レストランのシェフ・高田裕介さんが内子町に息づく暮らしの美を食事で表現します。

このダイニングアウトの食材探しは9月4〜6



1. 梨の味を確認する高田シェフ 2. キジ肉を振る舞う崎野利行さん 3. 生産のこだわりを話す大程久壽男さん

日、町内で行われ、案内人を務める東洋文化研究家のアレックス・カーさんと高田シェフ、スタッフなどが会場予定地を視察した他、道の駅や農園を訪れて生産者のこだわりや食材の味を確認しました。主催者代表の大類知樹さんは「景観まで考慮した持続的な農林産業の在り方は、国内の山間地域のいいモデルになる」と感想を話しました。

災害時の行政手続きを支援 愛媛県行政書士会と協定を締結

内子町と愛媛県行政書士会(山本大樹会長)は9月19日、「災害発生時における被災者支援に関する協定」を締結しました。協定書には、被災者支援の相談窓口の設置や行政書士会の会員を内子町に派遣するなどの内容が定められています。

稲本隆壽町長は「災害時には、様々な行政手続きが発生する。今回の協定は、町民の生活再建と復興の力になる」とあいさつ。山本会長は「締結だけでなく、いざというときの体制づくりを強化していきたい」と話し、固い握手を交わしました。



災害時支援の協定書を手にする山本大樹会長と稲本隆壽町長

「内子町中学校英語弁論大会」

「第15回内子町中学校英語弁論大会」(内子町教育委員会、(公財)内子町国際交流協会主催)が9月25日、内子座で開かれました。町内の4校から12人が出場し、ふるさとや家族、将来の夢などについての思いを、流ちょうな英語で伝えました。

大会結果	
1位	松森美羽さん(小田中3年) 「Wonderful people」
2位	霧田 奏さん(小田中3年) 「The importance of appreciating others」
3位	征見真咲さん(大瀬中3年) 「To succeed, you must try」



見事1位に輝き、表彰状を受け取る松森さん(中央)